

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒141-0032  
 住 所 東京都品川区大崎1-6-4  
 氏 名 エリーパワー株式会社 印  
 代表取締役社長 吉田 博一  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	エリーパワー株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区水江町4-7		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	29	電気機械器具製造業
主たる事業 の内容	蓄電池の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	5,366	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	川崎業務部
		所在地	川崎市川崎区水江町4-7
		電話番号	044-276-8113
		FAX番号	044-280-1205
		メールアドレス	0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	23年度 ~ 25年度 (報告年度 25年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	当社の環境基本方針については、ホームページにて公表しております。 <a href="http://eliipower.co.jp/policy/environment.html">http://eliipower.co.jp/policy/environment.html</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 2,442 t-CO <sub>2</sub> (調) 2,141	(実) 2,778 t-CO <sub>2</sub> (調) 2,449	(実) 8,348 t-CO <sub>2</sub> (調) 7,438	(実) 8,838 t-CO <sub>2</sub> (調) 7,908	(実) 17,671 t-CO <sub>2</sub> (調) 15,493
削減率		(実) -13.8 % (調) -14.4	(実) -241.9 % (調) -247.4	(実) -261.9 % (調) -269.4	(実) -623.6 % (調) -623.6

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値			0	0		
削減率			%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	生産数量の増加に伴うエネルギー使用量の増加分が、省エネルギー活動による削減分を上まわり温室効果ガス排出量の増加につながった。
第2年度	工場の大規模な増設を行ったため、エネルギー使用量が増加し、それに伴い温室効果ガス排出量が増加した。
第3年度	単年では、生産数量の増加に伴うエネルギー使用量の増加分が、省エネルギー活動による削減分を上まわり温室効果ガス排出量の増加につながった。 また、3年間の排出状況の総括としては、第1期計画期間では、工場増設によるフル稼働時のCO <sub>2</sub> 排出量の増加を設備容量などから約600%増と見込んでいたが、省エネルギー活動や計画遅れにより、基準年度比約260%増にとどまった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

--

## 3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

## (1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備</li> <li>○主要設備の保安全管理</li> <li>○冷凍機の効率管理</li> <li>○コンプレッサーの運転管理</li> <li>○新設、更新等における措置</li> <li>○再生可能エネルギーの利用</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新設、更新等における措置</li> </ul> 照明新設時に等の省エネルギー型の機器、不必要な場所及び時間帯の消灯のための人体感知センサーやタイマーなどを導入した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○再生可能エネルギーの利用</li> </ul> 工場の増設に伴い、太陽光発電設備を導入した。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主要設備の保安全管理</li> </ul> 主要設備の管理標準の作成を進めた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○コンプレッサーの運転管理</li> </ul> 需要に応じた台数制御と設置環境の維持管理を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○再生可能エネルギーの利用</li> </ul> 工場棟の屋上に太陽光発電設備を設置した(23年度分は事務棟に設置)。
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備</li> </ul> 各部門の代表者によって構成される省エネルギー委員会を設置し、エネルギーの管理方針等を定め、省エネルギー活動を活発化させた。 なお、第1計画期間では、計画項目の大半は実施し成果をあげたが、管理標準の作成、定期見直しの体系化については、作業のボリュームが大きいため完成に至らず、第2期に持ち越しとなった。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太陽光発電した電力を蓄電するシステム等の研究開発及び普及促進</li> <li>2. 事業所に出入りする協力業者に対するエコドライブ実施の要請</li> <li>3. 廃棄物の減量化・分別化の推進</li> <li>4. 社内における夏期のクールビズ実施</li> <li>5. 自社の蓄電関連製品を利用した事業所の省エネルギー化</li> <li>6. CC川崎エコ会議への参加検討</li> </ol>
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太陽光発電した電力を蓄電するシステムの開発及び普及促進を行った</li> <li>2. 工場に出入りする協力業者に、エコドライブへの協力を要請した</li> <li>3. 工場からの廃棄物の減量化および、分別化の推進を行った</li> <li>4. 夏期にクールビズを実施し、空調温度を高めに設定した</li> </ol>
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太陽光発電した電力を蓄電するシステムの開発及び普及促進を行った。</li> <li>2. 工場に出入りする協力業者に、エコドライブへの協力を要請した。</li> <li>3. 工場からの廃棄物の減量化および分別化の推進を行った。</li> <li>4. 太陽光発電と組み合わせた自社製品を用いて、事業所内の省エネと電源の安定化を図った。</li> <li>5. 夏期にクールビズを実施し、空調温度を高めに設定した。</li> </ol>
第3年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太陽光発電した電力を蓄電するシステムの開発及び普及促進を行った。</li> <li>2. 工場に出入りする協力業者に、エコドライブへの協力を要請した。</li> <li>3. 工場からの廃棄物の減量化および分別化の推進を行った。</li> <li>4. 太陽光発電と組み合わせた自社製品を用いて、事業所内の省エネと電源の安定化を図った。</li> <li>5. 夏期にクールビズを実施し、空調温度を高めに設定した。</li> <li>6. 「かわさき環境ショーウィンドウ大賞2013」に応募し入賞を果たした。</li> </ol>

## 6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

## (1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	11,023	t-CO <sub>2</sub>
(調)	9,179	

## (2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎事業所	川崎市川崎区水江町4-7	2951	蓄電池製造業	11,023 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

## (3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--